

福祉活動部 2022年度 活動(HP)のまとめ

入学式後、ユニセフ「ウクライナ緊急募金」を行いました

4/8(金)入学式のあと、新入生保護者の皆さまを対象に、

ユニセフの「ウクライナ緊急募金」(子ども達への支援)を行いました。

生徒会・福祉活動部・ギター部の生徒達の呼びかけに、

快く募金にご協力いただき、感謝申し上げます。

集まった41810円のお金は、平和への思いが届きますように、

責任をもってユニセフに送金させていただきます。

ありがとうございました。







早朝のユニセフ「ウクライナ募金」ご協力ありがとうございました

4/13(水)～4/14(木)、早朝の生徒登校時に、生徒会では有志のクラブの生徒とともに、ユニセフの「ウクライナ緊急募金」(子ども達への支援)を行いました。

世界中の子ども達が、戦争や暴力のない社会で過ごせるよう願いをこめて募金活動を行い、多くの生徒の皆さん・先生方からご協力をいただきました。

集まったお金は、生徒会会計で集計し(累計で現在54516円)、責任をもってユニセフに送金させていただきました。

ありがとうございました。



早朝から



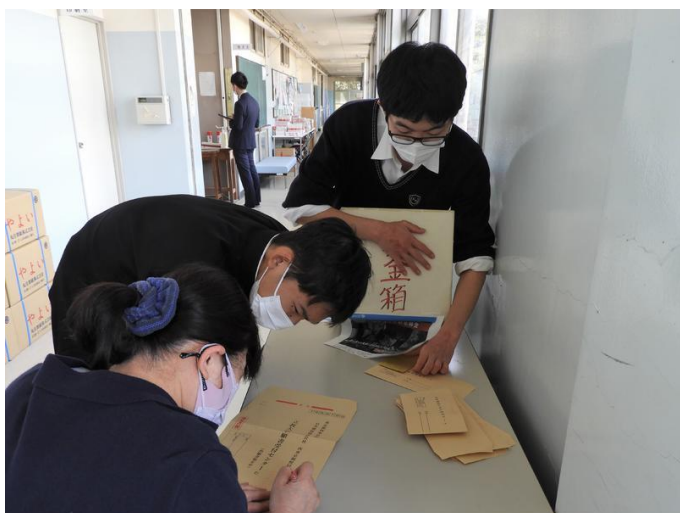
スタンバイ



ご協力ありがとうございました。



先生方にも感謝です。



生徒会会計で集計



私達の願いが届きますように

久しぶりの保育所訪問

5/20(金)、福祉活動部の11名の部員が、コロナ自粛で久しぶりの「西鈴蘭台頌栄保育園」を訪問しました。

こども達はとても元気で、園庭を走りまわったり、ボールで遊んだり、砂場で遊んだりしながら、私達高校生のおにいちゃん、おねえちゃんといっぱいお話をしました。

7月には、学校の方にこども達を招待して、またいっぱい交流をする計画です。

みんな！ お楽しみに。



福祉活動部 文化祭の取り組み

福祉活動部は、これまで文化祭では募金活動をやってきました。

今年は、感染拡大防止のために一般祭が中止になったので、募金は断念しました。。

その代わりに、募金と並行して細々と続けてきた、「種から育てた花の苗のプレゼント」を、校内祭で実施しました。体育館に入場された3年生保護者向けに花の苗を展示して、「よければお持ち帰りください」と呼びかけたところ、快く私達の思いにこたえてくださり、お花を届けることができました。ご協力ありがとうございます。



花の苗は、このあとも保育園等にプレゼントしていく予定なので、毎日水やりを続けたいと思いま～す！

福祉活動部 保育園児を学校に迎えて交流会

7月には、感染対策を徹底させながら、西鈴蘭台頌栄保育園のこども達を学校に招いて交流会を行いました。



校内の畑に植えたジャガイモは、とても大きく育っていて、こども達は手でほって私達高校生に元気よく見せてくれました。





お部屋(講義棟パフォーマンス室)に入る時には、子ども達はおねえちゃん達といっしょに、手をしっかりと洗ってくれましたね。



人形紙芝居、パネルシアター、ゲーム、工作をしていっしょに楽しむことができました。



また、遊びに行くよ。学校にも遊びに来てね！



保育所園庭での出し物上演再開！



10/21(金)福祉活動部は君影保育所を訪問し、園庭でオリジナル紙芝居を上演したあと、午後の日差しを浴びながらいっしょに子ども達と遊びました。君影保育所の子ども達はとても元気で、フル回転で走りながら、いっぱいお話をしてくれました。



プレゼントのオリジナル絵本も受け取ってくれました

福祉活動部では、これまでコロナ感染予防対策で、保育所の子ども達とは、学校でのイモ掘りや、園庭の遊具遊びなど外での活動が主で、保育所施設内での出し物上演は自粛してきました。

そんな中どうしても「作品にこめた思いを伝えたい」と特大紙芝居を作り、感染防止を考えて、園庭で上演することができました。

園児らに紙芝居 2年半ぶり 神戸鈴蘭台高生



手作り紙芝居を披露する生徒たち＝神戸市北区

神戸鈴蘭台高校（神戸市北区）の福祉活動部員10人が21日、手作りの紙芝居を保育所で披露した。新型コロナウイルスの前は保育所や幼稚園で紙芝居や人形劇を演じたが、園児らを高校に招いてジャガイモ掘りをしたりしていたが、コロナで自粛していた。保育所などに出向いての上演は約2年半ぶりという。

「うちゅうじんのまき」。主人公が絵本の世界に入り、宇宙人とともに困っている動物を助ける話で、園児約40人を前に、縦約60センチ、横約90センチのパネル18枚を使って演じた。上演を自粛していた期間は、代わりにオリジナルの絵本を保育所や幼稚園に贈る活動などを続けてきた。初めての上演となった1年生の大畑史歩部長（16）は「多くの子もたちの前で披露できたことがうれしい」と話した。

（森直由）

10/22 朝日新聞朝刊より

上演した紙芝居は、「おねえちゃんのえほん 第3話 うちゅうじんのまき」。福祉活動部の先輩達で作ってきたお話の第3弾です。先日、めずらしい皆既月食に天王星が消えてゆく様子が見れましたが、保育園のこども達に、私達高校生の宇宙にこめた平和への願い、届いたかなあって話しています。



11/9 20:27 皆既月食とすぐ左下に天王星

（顧問の先生が撮影したけど、少し手ぶれしているそうです。）



私達が作った絵本

うちゅうの旅の話なので、こども達に手にとって読んでほしいです。

認知症サポーター講習会

11/9(水)放課後、生徒会長が生徒会行事として自主的に発案して実現した「認知症サポーター講習会」を開催しました。

高齢者の人権について考え、ともに支え合う社会を目指して、人権 HR のあとに生徒会長が生徒達に参加を呼びかけたところ、21名の希望者が申し込みをしてくれました。



講師として、こうべ市民福祉交流センターより 良川 明美 様をお迎えし、認知症の方と接する時に大切にしたい点について学びました。

最後に、参加者は認知症サポーターとして認証され「3匹のロバの模様に入ったオレンジのリング」をいただきました。

「認知症の方が話される言葉には、すべてそれまでの生活の積み重ねと、大切な意味がある。」

教えていただいたことを胸に、生徒達が地域や各家庭で活躍できることを祈っています。

手話講習会の取り組み

「手話」を学びたいと始めた活動、今年度もいっしょに手話を勉強する仲間を募って「手話講習会」を企画しました。

10/12に行われた人権手話講演会で手話に興味をもった生徒がたくさん参加してくれました。

① 人権手話講演会 「校長だより」の写真より





神戸聴覚特別支援学校の青木先生の講演を聞き、放課後に有志生徒で講演の感想を伝えました。

② 手話講習会

11月2日(水)と1月18日(水)の2回、北区聴力言語障害者福祉協会より 講師 藤本由記さんと藤本洋子さんをお招きして、手話の勉強をしました。

聴覚障害者にとってのコミュニケーションについてお話をいただいたあと、自己紹介ができるように、ていねいに手話を教えていただきました。

